

やっています！こんなサービス！

人気です！読書通帳サービス

長谷川 毅

数年前、下関市立中央図書館の読書通帳の二
ュースを知り、学校教育での読書活動で同様の
取り組みがありますが、もし公共図書館で実施
した場合にどのような効果が期待されるのか興
味を持ちました。千葉市をはじめ、手書きの読
書通帳の事例は数多くあるなかで、子どもの読
書活動を推進するため、今回、松戸市が導入し
た機械式の読書通帳について紹介いたします。

1. 導入に向けて

多くの図書館が読書通帳の効果として貸出冊
数の増加をあげていますが、単に貸出冊数を増
やすのではなく、子どもたちの読書活動がより
充実するために、どのように読書通帳が活用で
きるかを考え、読書通帳の仕様や読書通帳機の
機能について、公共図書館だけでなく学校図書
館も含めた先行事例を調査研究しました。

2. 実施準備

先行事例を調べる中で既存の読書通帳に足り
ないものが見えてきました。

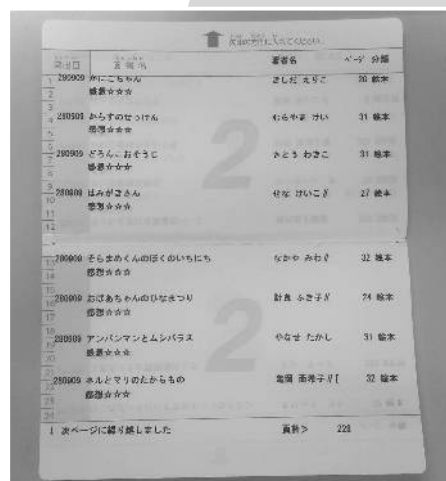
機械式の読書通帳では、主に貸出日、書名、
著者名が印字されるだけで読んだ本の感想など
を書き込めるスペースはありませんでした。

また、先行事例の多くが、読書通帳の効果と
して読書意欲向上を取り上げていましたが、松
戸市では、読書通帳サービスを児童サービスと
して位置づけ、子どもたちの生涯にわたる読書
習慣を身につけるための施策として、読書を通
じて幅広い知識を身につけ、多様な世界を知る
ような仕掛けに読書通帳を活用したいと考えて
いました。

そこでアイデアとして浮かんだのがNDCに
基づいたキャラクターアイコンの印字機能でし
た。それにより、自分の読書を振り返った際、

どういう分野の本をどのくらい読んだか一目で
わかれば、次に本を選ぶときに今まで読んだこ
とのない分野の本を手取るきっかけになるか
もしれないと考え読書通帳機のシステムベンダ
ーに新しい機能を要望しました。

また、読んだ本の評価や感想などが記入でき
る欄を設け、友達や家族に本を紹介するなど、
本を通じたコミュニケーションに使えるような
工夫をしました。そのような手書き部分を設け
ることで自分だけの読書通帳ができると考えま
した。



0 **空**
百科事典や年鑑、図書館のことも分かる、全てのまとめ役ってところかな。荷を見ればいいの分からない時は、まずは僕のところにおいで

1 **イチコ**
心って何かしら?同じ人間なのに、考え方が違うって不思議ね。心連・古い・宗・観…。心の謎に触れたくなったら、ここにきてみて

2 **ニ助**
旅は好きかな!?旅は若の世界を、夸りももっと広くしてくれる!歴史も学べれば知識人だ。色々な国の書を学んでみよう!

3 **弥生**
いい?ここでは政治や経済、民俗学などが学べるわ。社会の知識は必要不可欠よ。気を引き締めてきなさい。…でも、無理はしないように

4 **ショーン**
動物、植物、宇宙。それを解き明かすヒントになる数学…。一生をかけても解き明かしきれない謎は、魅力のさ。若もそう思わないかい?

5 **五郎**
物が壊れた?…勝手にいじったら危ないだろ。軍や飛行機の構造、物作りの根本が知りたければ、俺に聞けばいい。お前にもっとできる

6 **ジュン**
野菜や果物や、お魚。それを育ててくれる父や、運ぶ父がいてくれるから、俺達は元気に生活ができるよ。今日も、ご飯がおいしいね!

7 **ななみ**
写真や音楽やお絵かき…。自分を自由に表現できる芸術やスポーツに興味はない?あなたもきっと、自分を描きたくなる!

8 **八重**
言葉は、気持ちを相手に伝える大切なもの。話したいという気持ちは、国境を越えま。色々な国の言葉を学んでみませんか?

9 **セプト**
物語は若をすてきな世界に連れて行ってくれる。さあ、一緒にいこう!若の心に寄り添う、大切なものが見つかるはずだ

松戸市立図書館 日本十進分類法キャラクター

3. 本稼働

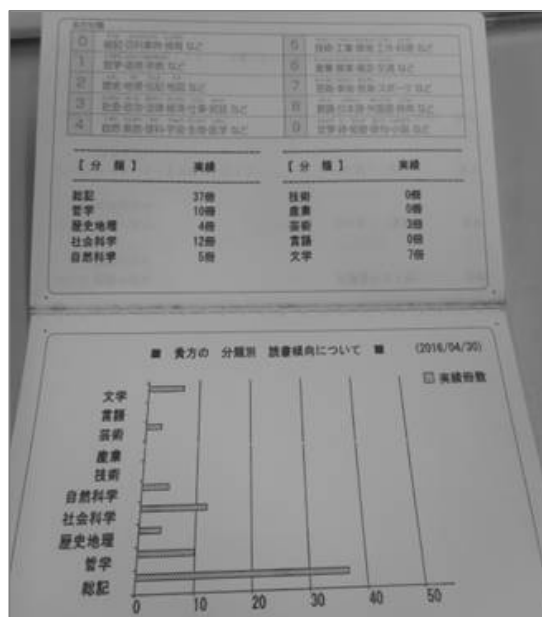
読書通帳機は平成 27 年度のシステムリリースのタイミングで他の機器と一緒に調達しました。システム設定などの協議を行うなかで、本稼働前に読書通帳機の機能は要望していた以上のものに改良されていました。

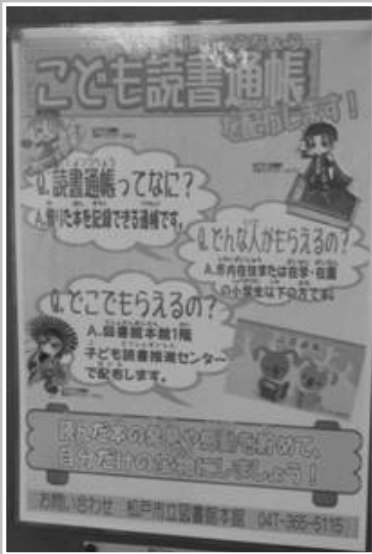
具体的な改良された点は、読書通帳が一冊終了すると最終ページに分類ごとの統計実績とグラフが印字されるようになりました。(グラフは棒グラフとレーダーチャートが選択可能)

そのため、同じページにNDCの分類表を印刷して本の分類について学べる工夫をしました。通帳にはNDCに基づいたキャラクターアイコンの印字はせず、NDCの一桁目の数字と分類名、読んだ本の総ページ数を印字することにしました。

改良点を踏まえ運用を協議し、本稼働にあたっては、NDC分類を擬人化したPRキャラクターも作成し、読書通帳を契機に幅広い分野の本の世界を楽しみながら、本の分類を学び、図

書館利用の促進につながるような戦略を考え、PRポスターなどを作成し、正式には平成 28 年 6 月 1 日から本館と子ども読書推進センターの2か所でサービスを開始しました。





● 評価と今後 ●

松戸市が導入した効果として数字に表れたものは、4月から10月までの前年対比で本館、子ども読書推進センターの新規登録者数が前年度比約170%、貸出冊数が約120%となっています。(前年度同期間で約9千冊増)
 利用者の声として、子どもたちは「銀行通帳のように機械で印字されるので楽しい」「書き込みができて後でどんな本が分かるから楽しい」「記録が貯まっていくのもっと本を読みたくなる」「感想や評価を書きこんで自分だけの読書通帳が作れる」など、主体的に読書を楽しんでいる様子です。

また、保護者は「本に興味を持つきっかけになった」「子どもたちが図書館へ行き本を読むようになった」「1冊終わるとグラフになるのは本を読む励みになる」「とてもいい取組なので本館だけでなく市内に広げて欲しい」「大人向けの通帳も作って欲しい」など、保護者が読書通帳を契機に子どもたちの読書活動が変わったことに対して評価していただいています。
 今後は、読書通帳を活用し、子どもたち一人ひとりの状況に応じた読書活動を支援するため、きめ細かな読書相談の充実を図っていきたくと考えています。

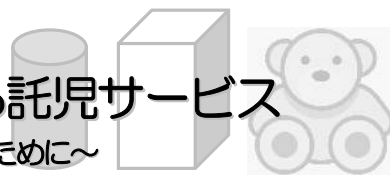
(松戸市立図書館 主幹)

やっています！こんなサービス！



八千代市立中央図書館における託児サービス

～ゆっくりと図書館をご利用いただくために～



五十野 睦子

1. はじめに 週3回の無料託児サービス

2015年7月に開館した八千代市立中央図書館では、図書館利用者に向けた千葉県内初の託児サービスを行っています。

このサービスは、指定管理者として八千代市立中央図書館・八千代市市民ギャラリーの管理・運営にあたるオーエンス・TRCグループが八千代市に提案し、実現したものです。



2. サービス内容

託児サービスの対象となる乳幼児は、図書館に利用登録がある方のご家族で、生後6か月から未就学児まで。毎週3回、火・水・土曜日の午前10時から午後1時45分の間に実施しており、1回1時間ご利用頂けます。満員の場合は予約を受け付け、予約がない場合は託児の延長が1回のみ可能です。

また、当図書館は千葉県在住の方であれば利用者登録が可能ですので、遠方にお住いの方でも託児サービスが利用できます。



3. 運営

実際の運営は、株式会社図書館流通センターの関連会社である保育支援専門会社・株式会社明日香が行い、サービス提供時間帯には保育士を常時3名配置しています。受け入れ可能な乳幼児の数は、国の最低基準を上回る形で独自に定めています。

4. サービスを利用して

図書館で行われる託児サービス、しかも“無料”らしい…。なぜ？本当に？

開館当初は、半信半疑な保護者の方から多くの問い合わせを受けていました。しかし、数か月を過ぎたころ、1日あたり7～8人で推移していた預かり人数が20人を超えるようになり、満員で利用をお断りすることも増えてきました。利用者に何うと「保護者同士の口コミで教えてもらった」という声が聞こえてきたのです。

【サービス利用者の声】

「家で本を読む時間はなかなか取れないし、走り回る子供を連れて本を探すのも大変。今日は一人で座ってゆっくり本を読めた。ぜひまた利用したい。」

「無料だなんて信じられない！本当にうれしい、ありがたい、助かる！」

「おもちゃがたくさんあり、子供が気に入っていてよく利用する。15分くらいしか時間がなくても“おもちゃで遊びたい”と言うので利用する」

「出産後にゆっくりと本を選んだり読んだりできたことはないので、ぜひ使わせてもらいたい」

「子供を静かにさせなければという気持ちがあり、これまでは行きにくかった」

「仕事復帰に向けた勉強ができた。一人目の時は大人と話す機会もなく、ストレスがたまった」

利用者の感想からは、乳幼児連れでの図書館利用を控えていた保護者が、サービスを有効に利用している様子が伺えました。

また、担当保育士からは「集団遊びの中で子供同士が刺激し合い、出来なかったことが出来るようになっていく」との報告を受けており、託児サービスが集団生活に慣らしていく一助ともなっているようです。

5. 育児コンサルジュ〜子育てひろば〜



毎月・第三土曜日には、普段の託児を担当している保育士が「育児コンサルジュ」として保護者から育児相談などを受ける交流会を開催しています。対象は0歳から未就学児とその保護者ですが、プレママさんやプレパパさんの参加も大歓迎です。

わらべうたや手遊びの紹介、幼児も参加できる工作なども行い、気軽に参加できる人気のイベントとなっています。

プログラムは毎回異なり、ブラックパネルシアターや体を使った遊びなども取り入れられ、常連の参加者に対しても飽きさせない工夫がされています。

懇談の時間になると、育児コンサルジュが保護者に寄り添い、さりげなく育児の悩みや困っていることなどを聞き出してアドバイスしま

す。初対面の保護者同士の交流も見られ、孤独と言われている育児のリフレッシュ時間として機能しています。



6. 図書館での託児サービスがもたらすもの

託児サービスがあることにより、乳幼児期から図書館で本に親しむ機会を多く得た子どもたちは、成長してからも図書館を身近な施設と捉えるでしょう。

図書館を繰り返し利用することで、本を好きな子どもや課題解決力を身につけた子どもが増えていくことが、今後の図書館と地域の発展に大きく寄与していくと考えています。

(八千代市立中央図書館
業務主任/フロアマネージャー)

